

コーポレートガバナンス改革の実質化に向けたアクション・プログラム2025

- ❑ 企業の持続的な成長と中長期的な企業価値向上に向け、2023年4月、2024年6月に策定した「アクション・プログラム」を踏まえて実質化・実践に向けた取組みを実施。
- ❑ 企業と投資家の自律的な意識改革に基づく**コーポレートガバナンス改革の実質化**を引き続き促しつつ、企業の持続的な成長と中長期的な企業価値向上に真に寄与する「緊張感ある信頼関係」に基づく対話の促進に向け、**コーポレートガバナンス・コード見直し(第三次改訂)**を行う他、必要な環境整備を推進する。

課題	これまでの取組み	今後の主な方向性
稼ぐ力の向上	✓ 東証の要請を踏まえ、多くの企業が企業価値向上に取組み	✓ 経営資源の適切な配分を通じた投資の促進(現預金を含め、現状の資源配分が適切かの検証等) ✓ 有価証券報告書において、企業戦略と関連付けた人材戦略や従業員給与・報酬の決定に関する方針、従業員給与の平均額の前年比増減率等の開示事項を拡充
情報開示の充実・投資家との対話促進	✓ 協働エンゲージメントの促進、実質株主の透明性向上、コードのスリム化／プリンシプル化に向けスチュワードシップ・コードを改訂 ✓ 有価証券報告書の株主総会前の開示に向けた環境整備の検討・実務上の課題の洗い出し	✓ 有価証券報告書の株主総会前の開示に関し、対応状況をフォローアップするとともに、更なる環境整備等を検討 ✓ 総会資料の書面交付の不要化を含めた総会に係る法制面の整理等の推進策について、関係省庁(法務省・経済産業省)と連携 ✓ 有価証券報告書の記載事項を整理(スリム化含む)
取締役会等の機能強化	✓ 取組みの実践を促進するため、社外取締役と投資家の対話や、実質的な議論を促すための取締役会事務局による取組み等、具体的な好事例を共有	✓ 社外取締役や取締役会事務局(コーポレートセクレタリー)の機能強化について、共有する好事例を更に充実させるべく、企業の実務担当者や様々な関係者の議論の場としてコンソーシアムを立上げ
市場環境上の課題の解決	✓ 政策保有株式について、有価証券報告書における保有目的変更に係る開示規制を強化 ✓ 「共同保有者」の定義を明確化(協働エンゲージメントの促進、複数の投資家による潜脱的な行為への対応)(改正政府令等を2025年夏に公布予定)	✓ 政策保有株式の開示に関する課題や開示例等を公表 ✓ 大量保有報告制度違反の課徴金引上げを検討 ✓ 東証において、親子上場、グループ経営等に関する検討・開示を推進し、少数株主保護の観点から必要な上場制度整備を検討
サステナビリティを意識した経営	✓ 国際的な比較可能性を確保したサステナビリティ開示・保証制度のあり方を検討 ✓ 取締役会・役員におけるジェンダーを含めた多様性確保、コーポレート・カルチャーを意識した経営や対話等、具体的な好事例を共有	✓ サステナビリティ開示・保証制度について更に議論を深め、特に有価証券報告書における非財務情報の虚偽記載等の責任のあり方を検討(セーフハーバー・ルールの整備) ✓ 人的資本に関する国際的な基準開発への意見発信